

公明党幹事長 井上 義久 殿

浪江町の復興に向けた要望書

昨年3月11日の原子力発電所事故より、1年が経過いたしました。

被災町民は元通りの安心した生活を送れない状態が続いており、直に町民の方々とお会いすると、その苦しみは痛切きわまりないものがあります。

浪江町では復旧・復興に向けた取り組みを進めておりますが、いまだ課題は山積しています。被災者の目線に立ち、効果的かつ迅速な対応を講じられることを強く要請します。

平成24年4月28日

福島県浪江町長 馬場 有

要望事項

浪江町、そして双葉郡の復旧・復興には町独自の取り組みのみならず、双葉郡の各町村、福島県、そして政府と協力して取り組んでいくことが必要であると考えます。

3月11日（日）、双葉郡として政府に対し、双葉郡のグランドデザイン^①の構築を中心とした「双葉地方としての主な課題」を提案し、また、4月3日には福島県知事とともに、政府のみならず公明党に対し、「原子力災害に係る緊急要望」を行わせていただきました。しかしながら、政府からは具体的な回答はありません。政府より早期に、具体的な回答を行うよう、働きかけていただけますようお願いいたします。

また、下記の点について特段の配慮をお願いいたします。

記

1. 福島復興再生と福島原発事故被害者の援護のための特別立法制定について

福島第一原発事故における精神的被害などについては東京電力における賠償制度が講じられていますが、国による被災者の人道的援助という観点から、早期に同法案を成立させるとともに、被害者に対する生活給付金などの生活再建制度の構築をお願いします。

2. 放射線健康管理手帳に伴う法制化及び支援制度について

浪江町では全避難住民に対し放射線健康管理手帳を交付し、健康管理・健康維持に努めると共に、放射線被ばくが起因とされる甲状腺

腺等の検診を毎年実施することとしました。避難民は全国に至り、全国の病院等で検診が受けられる体制が必要となるため、全避難民が全国各地で同様の制度が適用される法制度の準備および医療機関におけるホールボディーカウンターの設置を促進する支援措置をお願いします。

3. 医療費の無料化について

生涯にわたる健康不安に対する賠償並びに全国に避難している住民への検診体制の確立を含め、医療費無料化の制度を構築し、県内外にわたる原子力事故被災者の長期かつ抜本的な医療保障制度の確保をお願いします。

4. 公明党の掲げる震災復興施策の実施について

公明党の掲げる「震災復興及び経済対策に必要な予算に関する提言」には公共施設等の復旧、産業再建、原発事故対応など、被災者の生活再建に必要な事項についての施策が提唱されている。これら施策の早期かつ確実な実施をお願いします。

以 上